

令和8年度 スポーツ推進本部 予算見積の概要

(単位：百万円)

区 分		令和8年度	令和7年度	増(▲)減	増減率	主な内容
スポーツ推進本部 計		23,423	46,799	▲ 23,376	▲49.9%	世界陸上・デフリンピックに関する経費及び 辰巳アイスアリーナ整備費を除いた 前年度予算：22,286百万円（前年度比+5.1%）
	スポーツ推進費	23,423	46,799	▲ 23,376	▲49.9%	
	管 理 費	3,835	5,354	▲ 1,520	▲28.4%	人件費 等
	スポーツ総合推進費	10,039	28,711	▲ 18,672	▲65.0%	スポーツ振興、パラスポーツ振興、 国際スポーツ大会等
	ス ポ ー ツ 施 設 費	9,549	12,733	▲ 3,184	▲25.0%	都立スポーツ施設

※ 計数については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

スポーツ振興のための施策

⑧100億3,889万円(⑦287億1,104万円)

世界陸上・デフリンピックのレガシーを未来に継承し、誰もがスポーツを楽しめる「スポーツフィールド・東京」の実現に向けて、都民の健康増進やパラスポーツの振興、国際スポーツ大会等の誘致・開催の促進に係る施策を展開

令和8年度の主な取組

1 スポーツの振興

⑧53億2,829万円(⑦35億8,189万円)

■都心における新たなスポーツ環境創出事業（仮称） ⑧1億7,400万円 【新規】

世界陸上とデフリンピックでも活用したKK線において、両大会の周年事業として、親子や女性が参加しやすいランイベントや、ユニバーサルコミュニケーション(UC)技術の体験会等を開催し、大会レガシーの定着と都民のスポーツ実施を促進

■スポーツ女性コンディショニングサポートサイト事業 ⑧2,479万円 【新規】

スポーツに取り組む全ての女性を対象としたコンディショニング情報の特設サイトを開設するほか、若年層や指導者向けに学習動画を制作し、SNS等により女性の心身の健康に関する情報を効果的に発信

■T O K Y O 推しスポーツディスカバリー事業 ⑧1億6,351万円 【新規】

アスリート等による出張スポーツ教室の開催や、プロスポーツチーム等と連携した初心者向け競技解説キャンペーンの実施、フィジカルリテラシーの涵養に資する情報発信等、子供たちがスポーツをより身近に感じられるコンテンツを多面的に提供

■全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京大会開催準備（仮称） ⑧5億3,138万円 【新規】

令和10年度に開催されるねんりんピック東京大会に向け、シンボルアスリートの発掘や各種展示会でのエイジテックPR等、大会気運の醸成を通じて新たな健康長寿社会モデルの構築につながる取組を展開

■スポーツを通じた健康増進事業 ⑧8,056万円 (⑦6,074万円)

都民の運動サイクル創出に向け、年代や体力に適した体力測定メニューの検討のほか、ねんりんピックとの連携によりシニア向け普及啓発を強化

■都のスポーツ振興におけるeスポーツの活用 ⑧1億6,174万円 【新規】

スポーツ振興におけるeスポーツ活用の在り方を検証するため、関係団体と連携した競技デモンストレーションや都民向け体験会を開催

2 パラスポーツの振興

⑧20億5,948万円(⑦18億5,908万円)

■東京パラアスリート強化事業 ⑧1億2,030万円(⑦1億2,099万円)

デフリンピックを契機に、パラアスリートの遠征費・用具費等に対して支援を行う対象競技のうち、デフスポーツの競技を拡充

■パラスポーツ競技団体活動促進事業(仮称) ⑧4,431万円【新規】

パラスポーツ中央競技団体が行う都内での強化活動や関係団体との連携を支援することで、国際大会において活躍する東京ゆかりのパラアスリートの発掘・育成を促進

■パラスポーツ普及啓発プロジェクト「TEAM BEYOND」 ⑧4億6,100万円(⑦4億1,900万円)

パラスポーツへの関心喚起、応援気運の醸成に向けた動画配信やパラスポーツ体験会に加え、UC機器やAIデバイスを活用した観戦会を実施するほか、パラスポーツ競技団体と企業とをつなぐマッチングプラットフォームを運用

■都立特別支援学校活用促進事業 ⑧4億791万円(⑦4億259万円)

特別支援学校の施設をパラスポーツ団体等に貸し出すとともに、パラスポーツ・レクリエーション体験教室などの取組を、実施対象校をさらに拡大して展開

3 国際スポーツ大会等の開催

⑧23億1,216万円(⑦228億5,849万円)

■国際大会の誘致・開催支援 ⑧7億2,406万円(⑦2億9,112万円)

大会の開催規模や特性に応じて、支援上限額や補助率を見直すほか、UC技術の活用や競技中継に対して支援額の加算を行うなど、多種多様な国際大会の誘致・開催に向けた戦略的な支援制度に再構築

■愛知・名古屋2026アジア競技大会を契機としたスポーツ気運醸成(仮称) ⑧9,094万円【新規】

東京で開催される競泳・飛込(東京アクアティクスセンター)及び馬術競技(馬事公苑)において、世界陸上・デフリンピックでも取り組んだUC技術の活用や子供の観戦招待等を実施

■東京マラソン等の開催 ⑧4億7,829万円(⑦4億3,607万円)

第20回記念大会の機を捉えて、誰もが東京マラソンを楽しめるイベント等を開催し、スポーツ都市としての東京の魅力を国内外に発信

都立スポーツ施設の管理運営

⑧95億4,949万円（⑦127億3,350万円）

東京のスポーツインフラの中核を担う存在として、スポーツを通じた様々な価値の提供、施設の幅広い活用を促進するとともに、施設の維持補修、機能向上等を通じて安全・安心・信頼のスポーツ環境を提供

令和8年度の主な取組

1 スポーツ施設の運営

⑧53億9,886万円（⑦58億4,318万円）

■都立スポーツ施設等の運営 ⑧43億6,981万円（⑦44億1,491万円）

都立スポーツ施設の指定管理料等

■都立スポーツ施設等の維持管理 ⑧1億6,281万円（⑦5,127万円）

施設の計画的な維持管理のほか、自動散水機の配備等による暑さ対策や授乳ブースの設置などにより、施設の利便性を向上

■都立スポーツ施設の戦略的活用 ⑧1億9,352万円（⑦1億3,396万円）

都立スポーツ施設が持つポテンシャルの発揮や価値向上に向けて、各施設の魅力発信や共通コンセプトによる催しに加え、各施設の利用促進に向けたロケーションサービスなどの取組を展開

2 スポーツ施設の整備

⑧40億2,630万円（⑦67億6,625万円）

■味の素スタジアム大型映像装置改修 ⑧5億6,240万円（⑦3億6,960万円）

味の素スタジアムの大型映像装置の更新工事を実施

■アクアティクスセンター等舗装型太陽光発電設備の整備 ⑧1億8,950万円（⑦500万円）

都有施設における「カーボンハーフ」の達成に向けて、東京アクアティクスセンター及びカヌー・スラロームセンターについて舗装型太陽光発電設備を設置

■都立スポーツ施設における暑さ対策 ⑧7,290万円【新規】

カヌー・スラロームセンター等、屋外施設における日よけ屋根の整備に向けて設計等を実施